

いきいき協働事業評価シート

団体用(精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり)

○ 協働事業の概要

事業名	わかりやすい精神保健福祉講座
団体名	精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり
担当課名	障害者福祉課
事業期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されかた、対象者がどう変わりましたか。)

地域に巡らされている精神保健福祉のネットワークを知ることで、障がいを抱えても安心して暮らせる地域づくりに市民が協働して取り組む必要があることを理解してもらうことを目的として、日頃、精神保健福祉のボランティアに取り組んでいる団体が、市民感覚で企画した精神保健福祉講座を開催しました。

この講座を通して、精神障がいとは他人事ではなく、誰もが発症する可能性のあることに気付き、一般市民に正しい知識をわかりやすく説明しました。

結果として、このようなテーマの市民向けの講座はさほど集まらないと言われていましたが、目標人数160名のところ317名もの参加がありました。また、当事者・その家族の方の参加が多いと予想していましたが、一般市民の参加者が多く、目標が達成されたと感じました。

アンケート結果からも「わかりやすい講座であった」「市内の精神福祉ネットワークがよく理解できた」「もっと市民が精神保健福祉に興味を持ち、障がいを抱えても安心して生活できる環境づくりが重要である」との意見をいただき、対象者の意識が変わったことが確認できました。

②自らの団体の長所が、発揮出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開できましたか。)

このような講座をもっと開催して欲しいという声を多くいただき、精神保健福祉の啓発は、繰り返し行うことで解決につながるものと実感しました。医療・福祉側からの専門性の高い講座だけでなく、市民団体が実施しても、市民にとって理解しやすく、身近で参加しやすい環境を用意できれば、多くの市民の参加が得られることがわかりました。

また、障害者福祉課・市民協働担当との協働により、精神保健の知識や講演会をやるためのノウハウを考え、企画実行しました。団体単独では実現できなかったことも、順調に実施することができました。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

これだけ効果のある大きな講座を無事終了できたのは、市の担当課との協働による成果です。納得がいくまで打合せを行うことで、お互いの立場を正確に理解でき、それぞれが何をしていけば効果的に事業を進めていけるのかを認識することができました。

④改善提案がありますか。

市との対等の立場での協議を行い、それぞれの役割と責任のもと協力して協働事業を開催することで、今後の方向

性を感じる事ができました。特に、小平市には、地域資源として「精神保健福祉に関するネットワーク」が張り巡らされており、今後さらに市民と行政が協働で情報を共有する取り組みが図られれば良いと強く認識しました。

自由記載欄

精神障がい者の方へのサポートを中心にボランティア活動を行ってきましたが、一歩進めて、広く市民の方へ「こころの病」の正確な知識の啓発を積極的に取り入れた事業展開について考えていきたいと思ひます。

○ 協働事業の概要

事業名	わかりやすい精神保健福祉講座
団体名	精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり
担当課名	障害者福祉課
事業期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

講座や施設見学を通し、精神障がいに関する正しい知識の習得と精神障がい者に対する理解・啓発を促すことができました。

また、精神保健福祉のサービスや関係機関のネットワークなどについて理解してもらうことにより、地域で生活する精神障がい者の理解者・支援者を育成するという目的を、団体との協働事業により達成することができました。

②団体の長所を、発揮させることは出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

市が開催してもなかなか集客が見込めない講座について、市民団体のネットワークを活用し、予定数を上回ることができました。講座の内容についても、事前に市民へアンケートを実施し、クイズ形式を取り入れる等の工夫により、わかりやすい講座となりました。さらに、精神保健福祉についての相談窓口がわからないといったアンケート結果を踏まえ、講演内容に反映して話をしました。

また、「こころ悩むということ」「こころ支えるには」「こころ元気に」と言うサブタイトルをつけ、気軽にどなたでも参加しやすい講演とするなど、市民目線の企画が功を奏し、市民の方から好評を得た講座を開催することができました。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

事業提案を受けた際、団体と提案内容を丁寧に確認し、誤解や疑問等が生じた時は話し合いを重ねる事で解決しました。誤解されていた点としては、収支予算の事業費について事業に要する費用までも削って積算していたため、訂正をしました。

また、役割分担を確認し各々準備を進めましたが、事業の進捗状況に応じて出てくる課題に対しては、協議をしながら進めていくことができました。

④改善提案がありますか。

平成23年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	わかりやすい精神保健福祉講座
団体名	精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり
担当課名	障害者福祉課

①目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>当初、団体の活発な動きに対応が遅れがちになることもありましたが、何度も連絡を取り合い、協働事業を実施することができました。</p>	
<p>【改善が必要と思われたこと】</p> <p>団体と担当課との初期の調整段階で、お互いの誤解がないように、事業内容について丁寧に話し合う必要性を感じました。</p>	

②自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>お互いに誤解が無いように、その都度打合せを行い、調整しながら事業を進めることができました。</p>	

③相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、事業実施に際しては柔軟な対応が図られましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>事前にアンケートを実施して講座に反映させたり、クイズ形式を取り入れたりと、市民目線の企画が功を奏し、わかりやすい講座内容を構成することができました。</p>	

④対等関係（互いの事業活動について対等な立場にあるため、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け、一方的に決めることなく十分に話し合います。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>役割分担を確認して各々準備を進めましたが、事業の進捗状況に応じて出てくる課題に対しては、協議をしながら進めていくことができました。</p>	

⑤情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>進行状況に応じて、定期的に連絡を取り合い調整を図っていたので、お互いの情報を共有しながら事業を進めることができました。</p>	

⑥役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>団体の専門的な知識や活動のネットワーク、市の広報力や関係機関との調整等、お互いの長所や立場を活かせるような役割分担を定めることができました。</p>	

⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>市が開催してもなかなか集客が見込めない講座に、市民活動団体のネットワークを活用することで、予定数を上回る参加者を得ることができました。</p>	

⑧目標の達成（事業の目的が達成できましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>病気の理解、障がいの理解、精神保健福祉ネットワークの理解と、総合的にまとめて学んでもらうことで、周りから必要とされた時に、良き理解者、助言者となることができることを、講座を通してわかってもらえることができました。</p>	

⑨地域の課題解決（事業を通じて、地域の課題解決が進みましたか。）

団体自己評価：充分達成できた	担当課自己評価：充分達成できた
<p>【共有できたこと】</p> <p>予想以上に多くの方の参加を得ることができ、アンケート結果からも「もっと市民が精神保健福祉に興味を持ち、障がいを抱えても安心して生活できる環境づくりが重要である」との声があり、対象者の意識が変わったことが確認できました。</p> <p>今後も継続して、このような講座を行うことができると感じました。</p>	

その他意見（いずれも提案団体から）

<p>精神障がい者の方へのサポートを中心にボランティア活動を行ってきたが、今後、一歩進めて当事者以外にも幅広く“こころの病”の正確な知識の啓発を取り入れた事業展開について、積極的に考えていきたいと思えます。</p>
<p>小平市には、地域資源として「精神保健福祉に関するネットワーク」が張り巡らされていて、今後さらに市民と行政が協働で情報を共有する取り組みが図られれば良いと強く認識しました。</p>